

村岡新駅周辺地区まちづくりニュース

令和元年度より、市民や地権者代表、学識経験者、地元経済団体等をメンバーとした「村岡新駅周辺地区まちづくり検討会議」を立ち上げ、ご意見を伺いながら、まちづくりの方向性について検討を行っています。

「まちづくり方針（案）中間報告」がまとまりましたので、その一部をご紹介します。中間報告の全体は、市ホームページや、村岡公民館でご覧いただけます。「まちづくり方針」については、今年中でとりまとめる予定です。

※紙面が少ないので、分かりやすくするために一部言葉を足したり、表現を変更している箇所がありますので、ご了承ください。

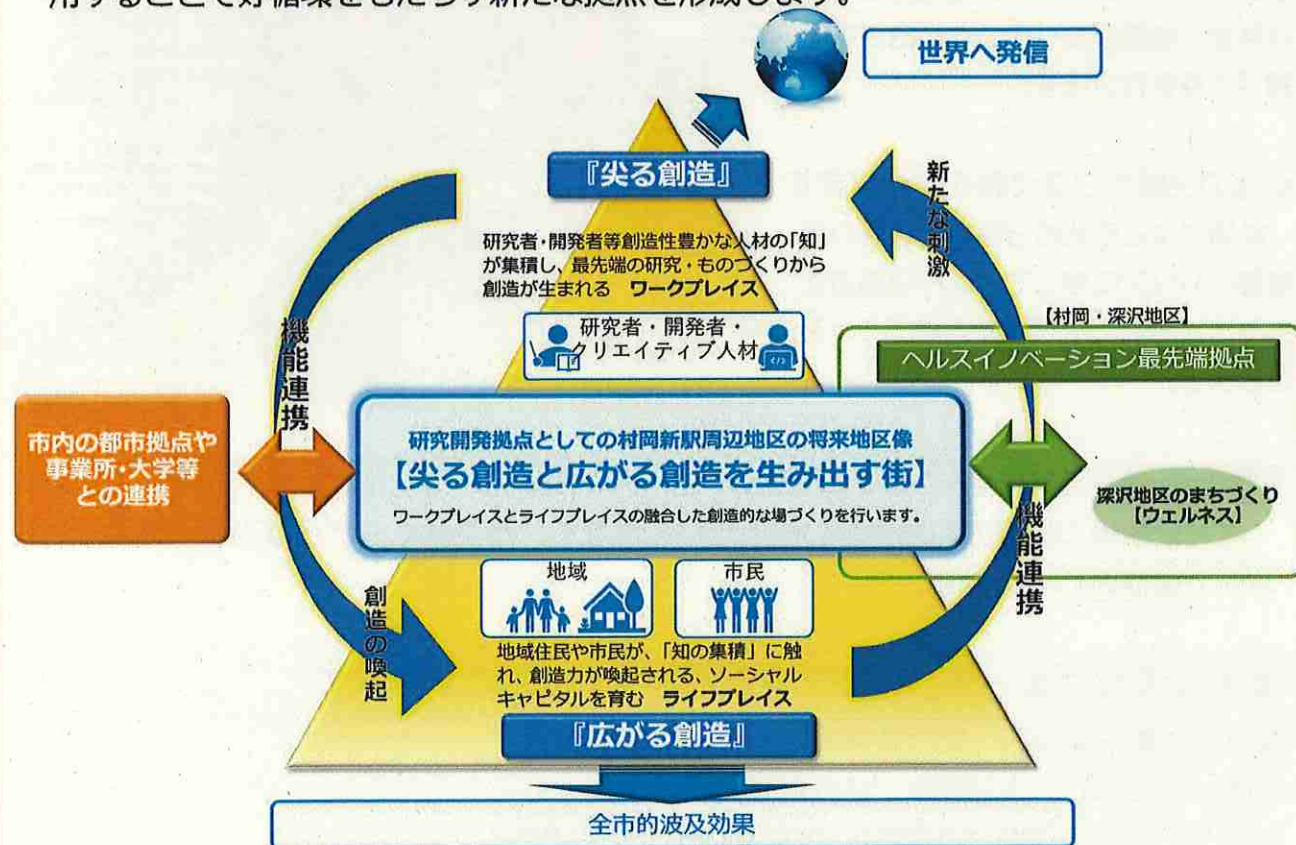
※市ホームページの検索で「村岡 まちづくり方針」で一番上に出てくるページにある「村岡新駅周辺地区まちづくり方針（中間報告）」のPDFファイルでご覧いただけます。

まちづくり方針（案）中間報告より

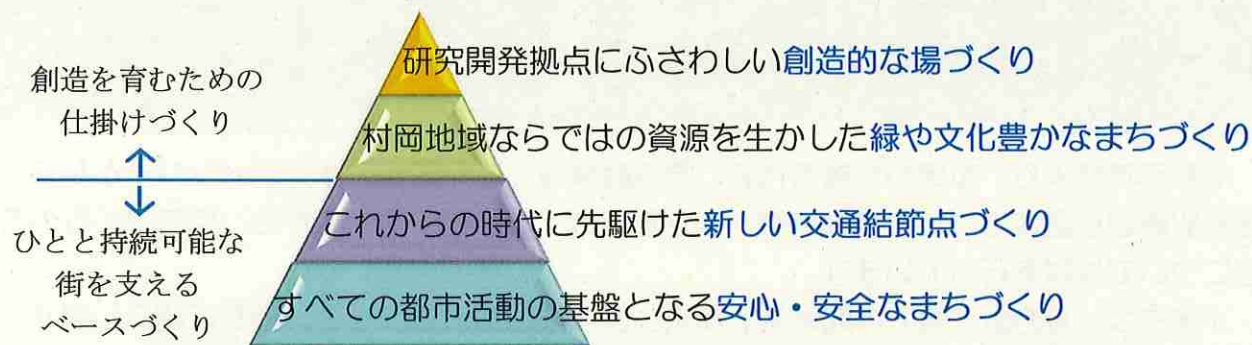
村岡新駅周辺地区が目指す将来地区像

村岡新駅周辺地区は、藤沢市都市マスタープランで、都市拠点の一つとして、研究開発拠点を形成することが位置付けられています。ここでは、「どのような研究開発拠点にするのか」を検討し、「将来地区像」として整理しています。

知的人材の集積を活かし、世界に誇る『**尖る創造**（最先端技術や専門家が生み育む創造性）』と、地域や市民と共に創り出す『**広がる創造**（暮らしや感性をより豊かにする創造性）』が相互に作用することで好循環をもたらす新たな拠点を形成します。



まちづくりを進める上での重要なテーマ



創造的な場づくりを支える具体の導入機能イメージ

研究・開発の場

～働く～

研究開発機能や、研究開発の支援機能などの次代の働き方に対応したワークスペース等

創造が生まれる場

～交流・遊ぶ・体験する～

研究者等の交流・議論の場や、市民の体験の場、情報発信・検索の場等

憩い・リフレッシュの場

～暮らす～

近隣住民や働く人等のくらしや憩いを支えるスーパー・飲食、サービスアパートメントなどのサービス機能

空間づくりを行う上での基本的な考え方と空間整備イメージ

垣根を感じさせない空間づくりを行います

枠にとらわれず、オープンスペースとプライベートスペースの境界を感じさせず、活動がエリア全体に広がる空間づくりを行います。

南北の空間をつなぐ軸をつくります

鉄道による南北の分断や地区間の距離等のバリアに対して、様々な創造を生み出す活動空間が連なる軸づくりを進めます。



村岡新駅周辺地区まちづくりに伴う全市に対する効果

村岡新駅周辺地区の利便性等の向上だけではなく、市全体にもたらす効果・波及などについて整理をしています。

*「まちづくりニュース」に関するお問い合わせはこちらまで

藤沢市 都市整備部 都市整備課 村岡地区整備担当

電話：0466-25-1111(代表) 4321(内線)

<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/tosei/index.html>

